

検討の目的・課題・狙い・プロセス

検討の目的（地域別実行計画の目的）

公共施設の将来を考えるにあたり、サービス機能を維持しつつ、将来に過度な負担とならないよう施設規模の削減を進める必要があります。

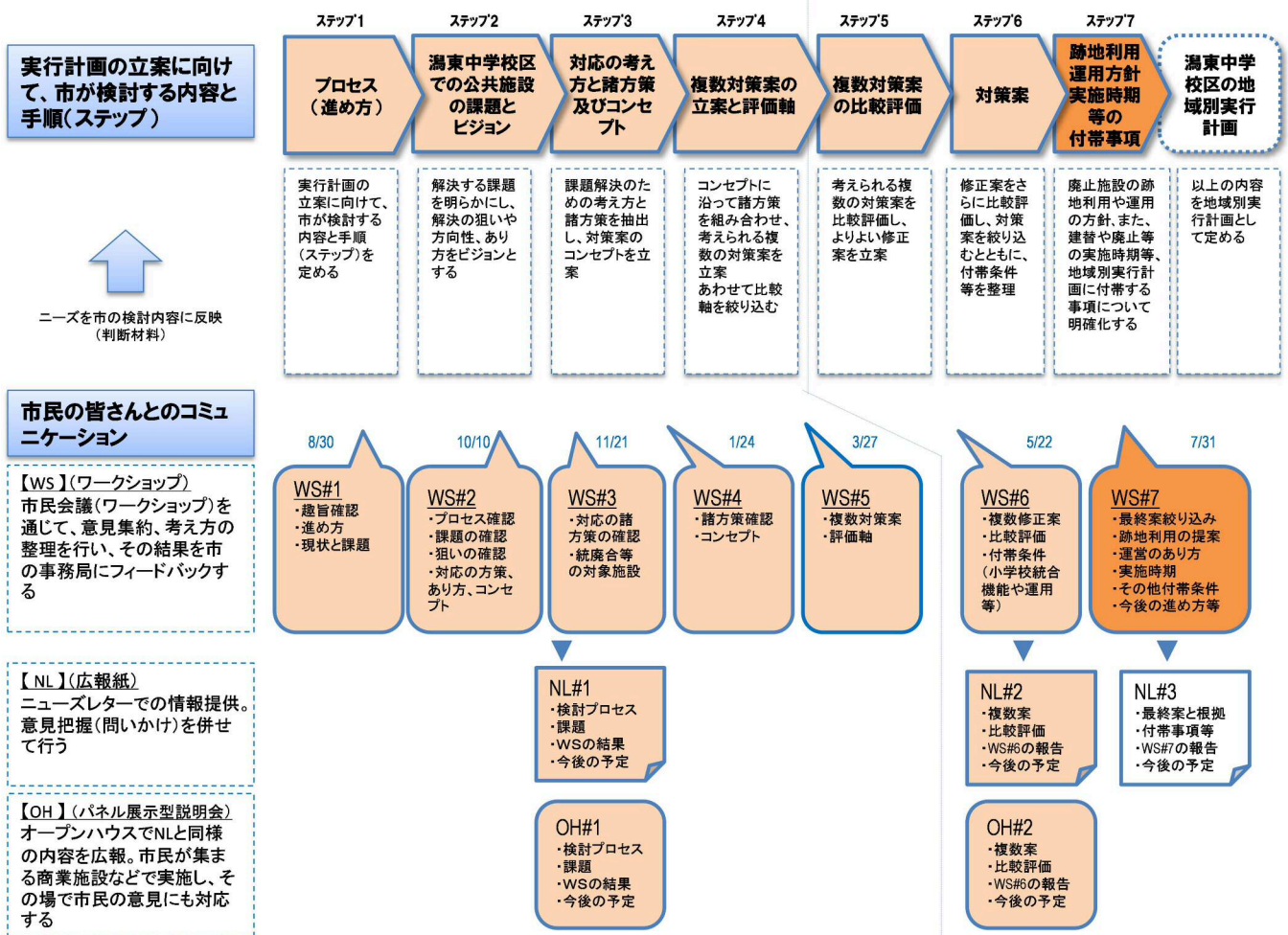
特に、市民が日常的に利用する身近な施設については、地域ごとの現状や課題を踏まえながら、将来どうあるべきかを計画していくことが重要であることから、中学校区を基本単位として「地域別実行計画」を作成します。

【地域別実行計画としてとりまとめる項目】

- 湍東中学校区の公共施設に関わる課題
- 目標とするビジョン（課題解決の狙い）
- 課題対応の考え方や対策のコンセプト
- 具体的な対策案
- 既存施設の利用の効率化や廃止施設の利活用のあり方
- 優先すべき施策
- 今後の進め方

検討プロセス（更新）

第7回ワークショップでは、再修正された対策案と、跡地利用などの付帯事項などについて話し合います。



■対策案と評価について

- 前回のワークショップでは、「課題解決の狙い」を踏まえながら、複数の対策案について検討を進めてきました。
- 今回は、前回ワークショップでの新たな提案やご指摘を踏まえ、新たな対策案を追加し、また、評価表も更新しました。
- これらをもとに、今回も改めて対策案と評価表についてご確認ください。ご議論の結果は、今後、市が最終的に対策を決定する際の判断材料とさせていただきます。

